

議会広報

# かりば

第115号  
平成18年4月



## 「ワクワク ドキドキの新1年生」

島牧小学校入学式（平成18年4月6日）

### おもな内容

#### ► 第1回定例会

行政報告 ..... 3ページ

審議した議案と内容 ..... 3~4ページ

一般質問 ..... 4~8ページ

予算特別委員会 ..... 8ページ

意見書の提出 ..... 9~10ページ

# 平成18年第1回村議会定例会

3月10日～17日

## 平成18年度各会計予算は 予算特別委員会を設置し審議

平成18年度予算を審議する第1回村議会定例会は3月10日に招集され、会期を3月17日までの8日間と決め、初日は村長の村政執行方針と教育長の教育行政執行方針が述べられた他、議案18件を審議し、平成18年度の各会計予算は予算特別委員会を設置して審議を付託し、3月15日まで休会に入りました。

再開の3月16日は2名の議員が村政に対する一般質問を行いました。

その後、予算特別委員会で新年度予算審議が行われ、この日は散会しました。

翌17日には、伊藤予算特別委員長より審議結果の報告があり、この他平成17年度各会計の補正予算等の議案4件、意見案3件、閉会中の継続調査1件をそれぞれ可決、決定し閉会しました。

## 第1回村議会定例会出席状況

(開会・3月10日～17日)

氏名	開催日
◎出席議員 議席番号	
○村出席者	
助役長	
総務経済部長	⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①
総務課長	濱田 高瀬後佐中伊
企画観光課長	野杵島戸川藤尾藤田藤
住民課長	勝紀文伴仁真
健康福祉課長	男豊彦豊論裕則史一
水産農林課長	
建設水道課長	
出納課長	
教育長	
事務局長	
議会事務局	
◎農業委員会出席者	
◎教育委員会出席者	
全員出席	全員出席
全員出席	全員出席
全員出席	全員出席

# 行政報告

## 1. 指定寄附について

① 昨年12月22日、島牧開発株式会社より、小中学校備品購入費として100万円の指定寄附がありましたことを報告します。

なお、この寄附金については、小学校50万円、中学校50万円の備品購入費として一般会計補正予算に計上しています。

② 3月9日、寿都生コン株式会社より地域振興基金として、30万円の指定寄附がありましたので報告します。なお、予算については後日専決処分により補正します。

## 2. 平成17年島牧漁業協同組合の水揚げについて

昨年の島牧漁協の漁獲量は3,945トン、消費税抜きの漁獲金額は8億9百万円あまりで、平成16年に比べますと漁獲量で1,09トンの増、金額でも8千6百万円程の増となっています。

この要因としましては、秋サケが豊漁だったことと、ホッケ、ウニ等が前年より上向いたことによるものですが、反対にヒラメやエビ等が不漁

であり、東西で比較しますと支所地区では大幅に水揚げを伸ばしたものとの、本所地区では不漁であった昨年並みとなっています。

主な魚種別に前年との比較を見ると、数量で前年より増えている魚種は、サケが163トン、イカナゴで56トン、他魚種で72トンの増であり、減少しているのはホッケが173トン、エビで21トンの減となっています。

次に漁獲金額ですが、増えている主な魚種は、サケが5千4百万円増の1億5千7百万と漁獲金額の20%を占めており、あとはホッケが1千百万円の増、ウニが殻付、むき身を合わせて1千3百万の増であり、減少したのはヒラメで1千6百万円、エビで2千3百万円ほどの減ですが、エビがここ2年間で7千万以上の大幅な落ち込みとなっています。

以上のとおり、平成17年分の水揚げ金額は前年よりは伸びて8億円台を回復しましたが、決して豊漁といえるものではなく、今後とも本村の基幹産業であります漁業振興を図るため、作り育てる漁業の推進等について、漁協と協力

し合いながら努力して参ります。

## 3. 元町・原歌簡易郵便局の運営について

元町簡易局については、職員の退職、また、3月24日をもって廃局となる原歌郵便局については、土地、建物を購入して利用し、簡易局としての体制を整え、運営して参ります。

これらに伴い事務従事者の公募を行い決定していまして、両局ともに4月からは民間委託により運営して参ります。

## 4. 村道等の除排雪について

本年度の除排雪については、平成17年11月28日に島牧開発株式会社と除排雪予定時間1,340時間、委託金額1,384万円で契約を締結し、その後内容を一部変更して委託金額1,502万円で実施して参りましたが、12月中旬からの毎日の稼動となり1月末で稼動時間1,265時間、委託金額1,443万円となつたことから2月・3月分の過去の稼動実績を考慮し、今回提出の補正予算に委託料874万円の追加補正を行い除排雪作業を実施して参りました。

982万円となつておらず、今後さらに降雪があった場合は、委託料の不足の可能性があります。

ますが、道路除雪費内より流用し地域住民の交通の確保に努めて参ります。

# 新年度予算

## 審議した議案と内容

### 新年度予算

#### 例の制定

### 財政調整基金の一部処分

#### び緊急対処事態対策本部及び緊急対処事態対策本部に関し、必要な事項を定める。

### 平成18年度一般会計予算

#### ◎賛成多数で原案可決

### 平成18年度国民健康保険事業特別会計予算

#### ▼島牧村長期継続契約とする契約を定める条例の制定

### 平成18年度介護保険事業特別会計予算

#### 長期継続契約（翌年度以降にわたり物品等を借り入れ又は役務の提供を受ける契約）を締結できるよう定める。

### 平成18年度老人保健特別会計予算

#### ◎賛成多数で原案可決

### 別会計予算

#### ※これらの議案は、全員構成による予算特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定。

### 平成18年度簡易水道事業特別会計予算

#### ◎賛成多数で原案可決

### 平成18年度介護保険事業特別会計予算

#### ▼島牧村特別職の職員の給与及び旅費支給に関する条例の一部改正

#### 17年度に引き続き、期末手当を減額。

### 島牧村国民保護協議会条例の制定

#### 年4・2月を3・6月に減額

### 条例制定

#### ◎賛成多数で原案可決

### 島牧村国民保護協議会の組織及び運営に関する条例の一部改正

#### 年4・2月を3・6月に減額

### 条例改正

#### ◎賛成多数で原案可決

### 島牧村特別職の職員の給与及び旅費支給に関する条例の一部改正

#### 17年度に引き続き、期末手当を減額。

### 島牧村職員の給与に関する条例の一部改正

#### 年4・2月を3・6月に減額

### 条例改正

#### ◎賛成多数で原案可決

### 島牧村職員の給与に関する条例の一部改正

#### 月額の引下げ▲4・8%他。

### 島牧村国民保護対策本部及び運営に関する条例の一部改正

#### 人事院勧告に基づき、俸給管理職員の期末勤勉手当

の削減

年4・45月を4・25月に減額

◎全員賛成で原案可決

### ▼島牧村手数料徴収条例の一 部改正

除雪サービス手数料 月額  
1千円を2千円に改正

身体障害者デイサービス手  
数料を法律施行細則により徵  
収するため削除。

◎全員賛成で原案可決

身体障害者デイサービス手  
数料を法律施行細則により徵  
収するため削除。

◎全員賛成で原案可決

### ▼簡易郵便局設置条例の一部 改正

原歌簡易郵便局設置規定の  
追加。

◎全員賛成で原案可決

### ▼島牧村介護保険条例の一部 改正

介護保険料の改正。  
◎全員賛成で原案可決

### ▼島牧村介護予防・自立支援 事業条例の一部改正

外出支援サービス事業の移  
送範囲に寿都町及び黒松内町  
の医療機関を追加。

同事業の利用料軽減措置を  
廃止。

◎全員賛成で原案可決

### ▼島牧村公営住宅条例の一部 改正

公営住宅法施行令の改正に  
より、公募によらない特定入  
居事由の拡大。

◎全員賛成で原案可決

## 補正予算

### ▼平成17年度一般会計補正予 算（第8号）

各種事業完了見込による整理  
2千805万3千円減額

◎全員賛成で原案可決

### ▼平成17年度簡易水道事業特 別会計補正予算（第4号）

起債償還利子の減他  
37万2千円減額

◎全員賛成で原案可決

### ▼平成17年度介護保険事業特 別会計補正予算（第3号）

保険給付費の減他  
1千134万4千円減額

◎全員賛成で原案可決

### ▼島牧村一般会計補正予算（第 7号）

現委員藤田恵氏の再推薦  
◎全員賛成で原案承認

### ▼人権擁護委員候補者の推薦

◎全員賛成で原案同意

## 人事案件

### ▼損害賠償の額を定めること じん芥収集車衝突事故につ いて、村過失部分の損害を賠 償するもの。

◎全員賛成で原案可決

### ▼再質問

あまり具体的に、私が考  
るような答弁がされなかつた  
わけですが、例えば村長  
がよく言われる島牧村の基幹  
産業、漁業一つに取つてみて  
も、組合員の高齢化・減少化  
と、これであればせっかく先  
達の行政報告で8億水揚げ  
が超えましたと言いましたけ  
ども、じり貧であると、確か  
に今年も予算では色々と漁業  
ばかりじゃなく農業に関して  
も補助なり、そのような施策  
を取つてはいるわけですが、  
基本的に漁業にせよ農業に  
せよ、それに携わる人を増や  
すことだと、実際農耕地だつ  
て相当休んでいるところがあ  
るだろうという中で、やはり  
一つ一つのいま村で行つてい

## 専決処分

### ▼平成17年度島牧村一般会計 補正予算（第7号）

村道等除雪経費の追加  
897万2千円追加

◎全員賛成で原案承認

### ▼人権擁護委員候補者の推薦

現委員藤田恵氏の再推薦  
◎全員賛成で原案承認

### ▼その他の議件

### ▼損害賠償の額を定めること じん芥収集車衝突事故につ いて、村過失部分の損害を賠 償するもの。

◎全員賛成で原案可決

### ▼再質問

あまり具体的に、私が考  
るような答弁がされなかつた  
わけですが、例えば村長  
がよく言われる島牧村の基幹  
産業、漁業一つに取つてみて  
も、組合員の高齢化・減少化  
と、これであればせっかく先  
達の行政報告で8億水揚げ  
が超えましたと言いましたけ  
ども、じり貧であると、確か  
に今年も予算では色々と漁業  
ばかりじゃなく農業に関して  
も補助なり、そのような施策  
を取つてはいるわけですが、  
基本的に漁業にせよ農業に  
せよ、それに携わる人を増や  
すことだと、実際農耕地だつ  
て相当休んでいるところがあ  
るだろうという中で、やはり  
一つ一つのいま村で行つてい

村長

先の国勢調査による人口は  
1,997人となり村総合計

は皆様ご存知のことおりであります。

下回る結果になりましたこと

は皆様ご存知のことおりであります。

なお、少子・高齢化の進展  
もあり、島牧村として中長期  
的に人口減少が避けられない  
状況にある中で、本村への移  
住・定住施策に期待するところ  
は、社会減が続く中で若年層  
を中心とした人材誘致を図  
り、地域の基盤維持を図ると  
ともに、新しい産業の創出や  
地域づくりを担う人材確保に  
より新たな視点での地域活性  
化を進めることになると考え  
ます。

がいを見出すためにも、強い  
就業意識を持ち、また多くが  
充実した生活環境をも望むと  
されております。

わが村で定着率の高い移住・  
定住者を確保するためには、  
移住・定住施策を推進するた  
めのむらづくりに関する理念  
を明確にし、雇用機会の創出  
と充実、加えて社会的基盤の  
整備推進が肝要であると考え  
ますのでご理解を賜りたいと  
存じます。

がいを見出すためにも、強い  
就業意識を持ち、また多くが  
充実した生活環境をも望むと  
されております。

1. 定住対策について

長尾議員

## 一般質問

第一回村議会定例会での一般  
質問の内容と理事者側の回答を  
ご紹介します。

今回の質問者は2名で、その  
全文をご紹介します。

昨年の国勢調査の結果、本村の人口も2千人を割ってし  
まいました。

この人口減はこの村に留まらず、国全体の問題とは言え  
ますが、島牧村として何か方策が見い出せないのか、村長  
の考え方をお伺いします。

る補助事業、それより先に、簡単に言えば就労者が増えるような移住対策と言いますか、組合員の増加を促すような村としての施策が考えられないのか、今朝の新聞にも出ていましたけども、町村は忘れてしまいましたが、5年住んだら土地はただであげますよとホームページに出したら相当な反響があった。やはりこの島牧の中でも、今ただ単に皆豊かな生活ばかりではなく、自分の趣味なり嗜好に合った形の生活、ライフスタイルを選んでみたいという時代に入っている中で、色んなことが考えられると思うのですよ。

ですから、まずは本村の産業基盤である漁業・農業、これらの人口増加を考えるような村として補佐的に後押ししてあげられるような政策が考えられないのか、そのへんお伺いします。

**村長**

まず、当面考えておりますのは、村内の空き家など遊休民間施設の有効活用と、宅地として村有地を提供する事業を更に推進するなど居住環境を整えるための施策を講じる、また将来的には民間との連携で単身勤労者の賃貸住宅の建設、また安い宅地分譲を行って

事業、また就業奨励・確保を促進するための情報提供を行う事業、これらについて検討してみたいと存じております。これら移住・定住施策を推進することは、結果的に現在の住民の定住化にもつながるものであると、そう思っております。

今後も地域活性化対策の一環として推進してまいりたいと存じますのでご理解賜りました存じます。

**再々質問（要望）**

おっしゃることはよく分かるのですけども、もっと具体的に皆さんに示せるような、またせっかく村ではホームページも開いていますので、色々な方々が関心を持って見ていいと思うのです。

やはり、この島牧村に関心を持つていただきて、住んでみよう、住んでみたいと、そういう希望が持てる、確かに財政的な問題はあるかもしれませんけども、こういう時代ながらに夢が少しでも持てるような、そういう施策をすることが自治体としては是非必要だと思いますので、その点をよく考慮していただきたいと思います。答弁は要りません。

**教育長**

島牧村史の具体的な内容とい

たしましては、平成16年度に設置しました村史編纂委員会におきまして検討されました事項を基に、教育行政執行方針でも述べましたとおり、既刊村史の収録内容以降となりますが昭和63年から平成18年度迄の内容について、村史年表として発刊する考え方であります。

また、年表の形式につきましては、既刊村史の巻末に記載されております年表及び昭和58年度に発刊されました村史年表を参考として考えておりります。

**教育長**

正直言いましてそこまでの例えは発刊と言いますが、印刷部数の問題ですか、それら全戸配布を行うか若しくはするかと思ひます。

何れにしましても非常に経費の伴う関係につきましては、

## 2. 教育行政執行方針から

### 長尾議員

の詳細協議が必要になろうかと思います。

したがいまして現時点ではそこまでの考え方にはまだ明確なものは持っております。

①村史年表を次年度に発刊される予定の様ですが、その概要を具体的にお示し下さい。

### 教育長

以上、村史年表に関しましてお答えいたしましたが、今後も村史編纂委員会のご意見を尊重しながら編集作業を進めています。

例えばそういう印刷物による考え方、それから、そのデー

タの部分だけであるならば、そんなに大量な内容にはならないかなと思いますので、例

えばホームページ上の公開とか様々な方法というのは可能になるのかなということも併せて検討していきたいなと考えております。

ただ、村民全体、と言うのも各家庭に配布されるだろう

### 再質問

というふうに考えるわけです

けども、その他に例えばよそから求められた場合、そういうものに対応して配布できるくらいの部数を考えておられるのでしょうか。

### 再々質問（要望）

札幌に在札島牧クラブとい

う島牧出身者で、また関係者で構成されている、そういうこともありますので、中々費用的なことを考えると面倒な部分もあるのかもしれませんけれども、できるだけ皆さん

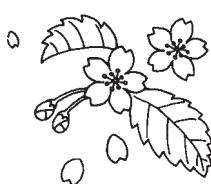
が手にしやすい状況で検討いたきたいと思います。答弁は要りません。

なあ、収録内容期間の平成5年に発生しました南西沖地震津波災害につきましては、開村以来前例の無い大惨事でありましたことから、本災害の復興につきまして年表形式により高潮対策事業等の記録を残す考えで検討いたしてお

ます。

それは仮に行うとするならば有償・無償という問題も発生するかと思ひます。

何れにしましても非常に経



## 長尾議員

②この執行方針の中で、3年後栄養教諭の学校配置に関しての考え方を述べられたわけですけども、昨年も一般質問でお伺いしましたけれども、今年度における地産地消の取り組みをお聞かせいただきたいと思います。

### 教育長

学校給食における地産地消の取り組みにつきましては、昨年の第2回定例会の一般質問で地産地消メニューを年間3回ないし4回試行する旨お答えしたところですが、実績といたしましては2回しか実施できなかつたところでございます。

本年度につきましては、従来同様島牧産米によります米飯給食を基本としつつ前年の反省に基づき、副食に地産地消の観点によるメニュー化を積極的に推進する考えでおりますが、前年度に引き続き試行期間として、年4回若しくは各学期1回程度の地産地消による献立を提供し、児童生徒に郷土の食材を通した食育に関する指導に努めてまいりますのでご理解願います。

### 再質問

色々と保健衛生上の問題等もあるのかもしれませんけれど、先日道東のほうの確か給食の記事が道新に出ていたと

思いますけれども、こども達が食べる安全上、給食提出側のほうで配慮してあれば、評判として肉より魚がおいしいという言葉も記事として出ていました。

やはりこの島牧で捕れた魚ばかりに限らず、いまはお米等のそういう本当に島牧でこ

よと、またこういうおいしい物があるのだよということを面倒さはあるのでしょうかでも、やはりより多く実施して、私は食というのはものすごく大事なことだらうと考えていますので、再度希望は希望で教育長の考え方は分かりましたけれども、もう少し具体的な答弁及び発言があったわけですが、に昨年の実績が2回というなかで是非4回、最低の4回は何とか頑張るというくらいの意気込みはありませんか。

### 教育長

先程申し上げましたとおり、試行という期間としつつも何か目標数値4回若しくは各

学期1回という言い方をさせていただきました。

現実的に各学期に1回と言いましても、3学期というのは冬期間、最後の給食、実質1ヶ月半ほどの流れの中では、非常に年度末の予算的調整等も入っていて難しい時期かなというふうに思います。

そうなりますと、1・2学期にある程度実施していくことを考えていかなければならぬ。

4回と言いました部分は季

節感も考えながら、何とか可能なものを考えていただきたいと

いう部分で申し上げましたので絶対クリアするとは、そういう意気込みではありますけれども様々な諸般の事情によってどうしても4回いかなかつたこともあるかもしれません。気持ちの上では4回

何とかクリアできるように、現場等にも指導しながら進めたいかといふうに考えております。

## 瀬戸川議員

### 1. 雇用促進における企業誘致について

雇用促進における企業誘致についてということで、この度の第1回村議会定例会におきまして、村長より村政執行方針が出され、その中で「元気のある村づくり」を基本理念として本村の振興発展に全力を傾ける旨の意思表示がございました。

村が直面する課題について、限られた予算の中で漸次執行することが述べられたわけでございますけれども、雇用の促進及び創出について、昨年12月の定例会の質問の中で努力する旨の答弁及び発言があったわけでございますが、その点について現在の状況をお伺いいたしたいと思います。

また、雇用促進のための企業誘致という観点から、私は刑務所の誘致ということで個別に村長並びに数名の議員の方にお話をしてきた経緯がありますけれども、村として刑務所の誘致ということを国或いは法務省等に働きかけ、その実現に取り組んでみてはどうかと思うわけでございますけれども、この件について村長の考え方をお伺いします。

## 村長

雇用促進並びに創出についてであります。が、第4回村議会定例会においてもご説明しましたが、雇用創造の取り組みにつきましては、引き続き北海道並びに公共職業安定所等の支援策を利用するよう事業者並びに就業希望者に呼びかけるとともに、村としては、関係機関に公共事業等の実施を強く要望し、生産基盤の整備充実を更に推進し地域経済の底上げに努力してまいりたいと存じます。

次に、企業誘致の一つとしての刑務所の誘致についてであります。が、受刑者受け入れに伴い相当の経済効果を期待することのできる事業であります。が、国の建設計画では昨年、平成17年までに2箇所の新設を予定しておりますが、既に建設する自治体が決定し、今後は既設施設の増設で対応する意向とのことであります。

刑務所誘致は地域活性化の手立てとして極めて有望な施策であります。が、本村の受け入れ環境は低位にあると認めざるを得なく、当面は刑務所誘致にかかる地域活性化方策を模索したいと考えております。が、理解を賜りたいと存

じます。

## 再質問

只今、村長のほうから答弁があつたわけでございますけれど、当初の雇用に関する地元雇用ということについて縷々前半において述べられたわけございました。

そのへんは私も妥当な対応のしかたであろうと思うわけでございますけれども、雇用の促進における企業誘致という観点で、私は刑務所というのを申し上げたことでござりますけれども、只今村長がおっしゃいましたように、既に昨年山口県の美祢市というところがいまお話をありました九州のもう一つの市と競合して勝ち取つたわけでござります。

この実績等ご存知かと思ひますけれども、ちょっとその点についてどれくらいの経済効果が美祢市に入ってくるのかということを調べておりますので話したいと思いますけれども。

美祢市の場合、受刑者一千人、職員275名、このうち公務員が125名でござりますけれども、残り150名は地元雇用ということでござります。

これを試算しましたところ、地方交付税においては1億7千8百万円、税収、市民税が4千4百万円、刑務所内費用

16億5千万円、計26億3千7百万円、こういう数値が出ておるわけでございます。

そして、更にその市に対する経済効果は約10億円が見込まれるという実態が出てきておるわけでございます。

また、本年1月のデータによりますと犯罪者の数は年々

増えておりまして、1月の時点におきましても既に4千人分が不足しておる、更に毎年5・6千人のペースで増えていくということが予想される

と、したがつて法務省におきましては数年前から今後これからも更に新設を計画していく

くということをホームページ等で述べられておるわけです。

そういうことを受けまして、では北海道の自治体において現状はどうなのかということを聞いていただきました。

と言いますと、約20の自治体が既に刑務所の誘致として名乗りを挙げておるわけでござりますと既に蘭越町・岩内町が名乗りを挙げております。

岩内町と蘭越町と島牧村、そんなに地域的な差は無いと思います。

確かに距離的なもの、色々な商店やらショッピングセンターやら、色んなそういう面で劣る点はあったとしても、この2つの地域が既に名乗りを挙げていると、また区域は違つても長万部町だとか木古内町だとか、そういう町が、また白滝村と、こういうところまでが名乗りを挙げているという現状があります。

そんな中で、私昨日12月の定例会にて地域再生計画区域法について述べました。地域自らの知恵と工夫によって地域経済を活性化し、雇用の創出と安定を図る市町村に對して独自に策定・計画したものを作成して、それを政府に提出して、それが認定されれば国及び道、また各省庁からの支援策と國からの支援が優先的に受けられることがありますと私はここで述べさせていただきました。

島牧村が作成した第三次島

牧村総合計画の中で新しい産業作りを謳い、シンボル事業を設定しております。その内容は、まさに地域再生計画区域法の主旨に合致し

たものであることは、私が頂戴した資料の中を見るなかでございます。

そういう状況の中でいま村が活力をどちらかと言うと失ったときに、いまこそ、苦しむときこそ、大変なときこそ、村或いは議会或いは商工団体・産業団体、村民が一体となって取り組む必要性に迫られているのではないかと思うのですが、この点について村長はどうお考えでしょうか。

**村 長**

刑務所の関係でございますけれども、私も色々關係機関に行つて調べてあります。

また今後の企業の誘致、村としてはどういうのが適しているのかという考え方でございましたが、やはり、村外から

島牧村を見て、どういう企業が有利なのかと、そういうこともありまして私も札幌に出たときには、はまなす財團だと

は、この用地の関係についても、は休業した飛行場、また工業団地として造成したが中々入

てこないとそういう100ヘクタール以上、200ヘクタール、これらの用地がもう準備されているそうです。

また、二つ目としては医療面、総合病院など医療面が充実していること、次に三つ目として、市街地に建設した学校・商店街など刑務官に対する住環境が配慮されていること、四つ目としては、都市部への交通アクセスが充実していること、これらが条件になつてございます。

ごとに商社等の関係者とも話をして、うちの環境、これら有利な面を話して適した企業はないかと打ち合わせはしてございます。

いまのところは精密機械の工場で、きれいな空気ときれいな水、これらをアピールして話をしてございますけども、まだそれもおいそれという返答はすぐ出るものではございませんのでご理解いただきたいと思います。

何れにいたしましても土地の関係がネックになつていて、ところがありますので、このへんをこれから企業等に説明して何とか企業が就業の場が確保されるように努力してまいりたいと思います。

再々質問（要望）  
只今の答弁の中で、確かに一つは土地の問題がござります。

それから、いま話がございましたように医療面、様々難点が出ております。

島牧村の場合は土地の7割が国有林、または国有地というのが出ております。案外島牧村の中でもそういう國有地を活用するという方法も考えられるし、また医療面

についてちょっと充実していない不足しているということ

であればむしろ刑務所誘致ということで医療面を充実させないかなと思うのですよ。

いま無いからできないじゃ

なくて、それを呼び込むことによって医療面も充実させていけると、交通基盤の整備も更に進めていける、そういう逆の発想で物事を考えていいともいいのではなかろうかと思うのです。

もう一つは、過去に島牧村はわずか10年間ではありますけれども、刑務所があつたとそれは国のほうも当然分かつておることでございます。

私はやはり、そういう不利な面をわずかな望みでもいいからそういう過去にあった実績そういうもの等を強く訴え

る中で、是非地域の活性化を含めた中で進めてもらいたいなど、これは要望に近いものでありますけれど、そのことを申し上げまして終わりたいと思います。答弁はよろしいです。

## 予算特別委員会

平成18年度の島牧村各会計予算は、3月10日開会の第1回村議会定例会において、予算特別委員会が設置され、こ

れに審査を付託し、3月16日に審議されました。  
3月17日に再開された本会議では、伊藤予算特別委員長

より審査の結果が「各案とも原案のとおり可決すべきもの」と報告があり、本会議で採決の結果、各会計予算とも委員長の報告のとおり可決されました。

## 平成18年度島牧村一般会計予算 前年度対比6.7%減の20億2,600万円

国民健康保険事業特別会計予算 …… 2億7,300万円  
簡易水道事業特別会計予算 …… 4億7,630万円  
老人保健特別会計予算 …… 3億650万円  
介護保険事業特別会計予算 …… 2億3,810万円

### ◎平成18年度各会計予算の主な事業をお知らせします

#### 一般会計

科 目	事 業 名	予算額(万円)
総務費	バス交通確保対策補助金	1,729
民 生 費	いきがい活動支援通所事業	700
	社会福祉協議会運営費助成金	896
	勤労者福利厚生資金融資制度預託金	500
農林水産業費	ふるさと林道緊急整備事業(千走線)負担金	1,519
	種苗生産施設管理事業補助金(漁業資源回復対策事業)	780
	農協運転資金貸付金	1,000
	農林業経営再建整備貸付金	1,841
商 工 費	商工会運営助成金	996
	(株)ソーサイエイジ島牧運転資金貸付金	3,800
土 木 費	元町団地内排水施設整備工事	382

#### 簡易水道事業特別会計

事 業 名	予算額(万円)
本目・豊浜・歌島地区浄水施設整備事業	42,659
葬斎場配水管布設工事	342

## 意見書の提出

次の意見書を可決し、関係省庁へ提出しました。

意見案第1号

# 公共サービスの安易な民間開放は行わず充実を求める意見書

提出者 島牧村議会議員

佳 藤 真

また、公務員の純減は、国の行政や自治体においても住民に直接サービスを提供する分野や出先機関がターゲットとされており、公共サービスの質と量における地域間格差が広がりかねない。

【提出先】  
す。  
規 定 に よ り 意 見 書 を 提 出 し ま  
要 員 を 確 保 す る こ と。  
止 め 、 公 共 サ ー ビ ス の 改 善  
や 水 準 維 持 の た め 、 必 要 な

政府は、「小さな政府」を実に、公共サービスの民間開放と公務員の純減を進めて

いる。しかし、建築確認の民間開放が耐震強度偽装事件を招いたと指摘されるように、

増大、地域間の格差があらゆる面で拡大するなど、格差社会が急テンポで広がっている。もとでは、雇用や安全、社会保障などでの国の役割發揮が重要であり、地方切り捨て、民間開放による「小さな政府」

内閣総理大臣  
総務大臣  
財務大臣  
行政改革担当大臣

意見案第2号

高齢者への負担増に反対し、  
安心の医療制度改革を求める

る業務の民間開放には慎重な対応が求められる。政府が導入を急いでいる市場化テスト

民間開放による「小さな政府」では国民の安心・安全が損なわれることになる。行政の効率化によって、住民の利便性や権利保障の後退を招くこと

# 意見書第2号

## 高齢者への負担増に反対し、 安心の医療制度改革を求める 意見書

(官員競争入札)は、民間の要望によって国と地方のあらゆる業務を対象とする制度で

があつてはならない。眞の地方分権を確立する自治体財政の確保を含め、国民生活のナ

提出者 島牧村議会議員  
伊藤真一

たせす、行政サービスが企業のもうけの場にされる懸念がある。

事項の実現を強く求める。

技術の発展等によって、国民医療費は年々増加し続いている。2006年の医療制度改革に向けて、政府・与党は昨年

備が急がれる。

医療費の伸び率を抑える「総額管理」制度の導入や受診のたびに毎回1千円程度を負担する「保険免責制」の導入などで、一律・機械的な給付削減を行えば、患者負担は大幅に増大する。その結果、医療制度への不信・不安が一層高まり、国民の生命と健康も脅かされることになる。

政府は、患者への負担ではなく、国民が健康で働き、生活できるように寄与する「安心の医療制度」改革を進めるよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

12月1日に「医療制度改革大綱」を決定した。

医療費の伸び率を抑える  
「総額管理」制度の導入や受  
診のたびに毎回一千円程度を

や自治体の責任を全うするため、市場化テストをはじめとする公共サービスの民間開放を安易に行わないこ

を今通常国会に提出し、成立させようとしている。

負担する「保険免責制」の導入などで、一律・機械的な給付削減を行えば、患者負担は

政府は、昨年12月12日に、米国産牛肉の安全性に不安を

月12日に、  
性に不安を

提出者 島牧村議会議員  
瀬戸川 豊

議會議員  
川 豊

(9)

持つ多くの国民の声を無視して2年ぶりに輸入を再開したが、再開から1ヶ月も経過しない1月20日、成田空港で検疫手続き中の米国産牛肉から除去が義務づけられている脊柱（背骨）が見つかり、再び輸入停止の表明を余儀なくされた。

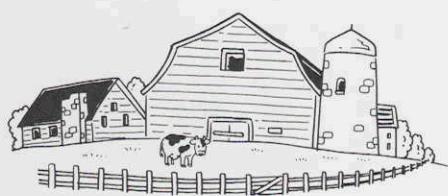
食品安全委員会が、リスク管理機関である厚生労働省および農林水産省に強く求めていた輸入プログラムの実効性が十分検証しないまま米国の検査体制の不安を押し切る形で拙速な再開に踏み切ったことが、こうした事態を招いたことは明らかである。

輸入再開を求める米国からの圧力に屈し、今回の事態を招いた政府の責任は極めて重大であり、国民の食の安全を軽視した先の政府の対応に対して改めて抗議する。

また、輸入再開の大前提である特定危険部位の除去という輸入プログラムを遵守せず、日米間の約束を反故にした米国政府のずさんな対応に対しても厳重に抗議するものである。

日本では2001年から畜産農家の協力も得て、世界で一番厳しいBSE対策がとられ、消費者も国産牛肉の安全性を感じており、日本並みのBSE対策及び全頭検査がされなければ輸入を再開すべきでないことを改めて表明する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出しま



【提出先】  
内閣総理大臣  
厚生労働大臣  
農林水産大臣  
食品安全担当大臣

## 議会の日誌

(平成18年1月)  
(平成18年3月)

### [1月]

- 5日 消防出初式 (生活改善センター 議長他)
- 8日 成人式 (おあしす 議長他)
- 11日 例月出納検査
- 26日 議員協議会  
議員会新年交礼会

### [2月]

- 1日 市町村合併推進に関する支庁管内説明会 (俱知安町)
- 14日 例月出納検査
- 16日 後志支庁管内町村議会議長会定期総会 (虻田町 議長)
- 16日 例月出納検査
- 19日 村田のりとし新春の集い(虻田町 長尾議員)
- 24日 南部後志衛生施設組合議会 (寿都町 伊藤議員)

### [3月]

- 2日 議会運営委員会
- 4日 さくい繁樹「後志ふるさと塾」 (虻田町 議長)
- 9日 島牧村スポーツ表彰式 (生活改善センター 副議長)
- 10日 第1回村議会定例会開会  
議員協議会
- 15日 島牧中学校卒業式 (正副議長他)  
例月出納検査
- 16日 第1回村議会定例会 (2日目)  
予算特別委員会
- 17日 第1回村議会定例会 (3日目)  
寿都医師会特別講演会 (黒松内町 議長他)
- 20日 島牧小学校卒業式 (正副議長他)
- 25日 島牧保育所卒園式 (副議長)
- 27日 岩内・寿都地方消防組合議会 (高島議員)

▽議会広報「かりば115号」  
をお届けします。

本号では、平成18年度の予算を審議する第1回定例会の審議内容、一般質問を中心に編集しました。

▽議会での審議をより理解していただきるために、みなさんのご理解を深めていただきたいと思います。議会傍聴をお待ちしています。

▽気象庁は、この冬の例年にない大雪に「平成18年豪雪」と命名しました。大雪被害に正式名称を付けたのは、実に43年ぶりのことです。

その厳しかった冬も終わり、本州からサクラの便りも聞こえてきます。今年は「冬の寒さ」と「春先の暖かさ」というサクラにとっては好条件が揃ったことから、全体的に早咲きとなりそうな気配です。

編集を  
おえ